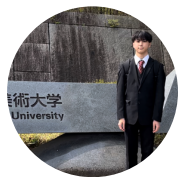


卒業生の声



池田 敦哉さん
伊集院中出身

私は伊集院高校で、文化祭や部活動に加え、校外での活動も行い、充実した時間を過ごすことができました。進路希望実現に向けては、勉強と美術の両方に力を入れて取り組みました。両方に力を入れることで、自分のアイデンティティをしっかりと持つことができ、進路選択にも自信を持つことができました。後輩になる皆さんには、自分の興味や関心を持ったことにも積極的に取り組み、何事にも挑戦する姿勢を持ち、自己成長を目指してほしいと思います。



桃園 琉々華さん
伊集院北中出身

私は、伊集院高校で部活動と勉強の両立に努めました。特に、勉強面ではきつい面も多かったですが、一緒に頑張った友達や先生方に支えてもらい、目標にしていた大学に合格することができました。3年生になり、勉強において大切だと気づいたことは毎日の授業をしっかりと受け、家では復習を中心にする事です。これを毎日続けるのは簡単に思えますが、難しかったです。また、わからなかったことはすぐ、友達や先生に聞くことも大切だと思います。私はこれらのことを1年生の時から習慣化させたかったと後悔しているので、これから大学受験をする人は、自分に合った勉強法を見つけ、毎日継続すると成績もどんどん上がると思います。自分の夢や行きたい大学が決まらず悩んでる人も多いと思いますが、色々な進路先を知り、少しでも興味を持ったものから調べていけば、選択肢も増えると思います。

令和5年3月卒業生

卒業生の声



久保 蓮佳さん
羽島中出身

私は、伊集院高校で様々なことに挑戦をしてきました。コロナ禍の中でも、勉強や部活動、生徒会など自分を高められる機会はたくさんあり、多くの経験をしました。特に挑戦してよかったと感じたことは、生徒会の活動です。行事の準備や各種委員でできることを考えたりなど、周りに助けをもらいながらも達成したことが良い経験となりました。これから、皆さんは進路に向けて努力すると思います。苦勞するからこそ、報われることは大きく、認められます。自分を信じて、諦めずに最後まで頑張ってください。



今屋 琴和さん
串木野中出身

私の高校生活3年間は、部活と勉強と友との時間を程よく費やすことができ、有意義な高校生活が送れました。進路希望実現に向けて取り組んだことは、暗記系は赤シートで覚えたいところを隠して何回も解き、分からない問題は先生に質問して理解するようにしたこと。質問すると先生から関連した問題や知識をさらに教えてもらえるので質問は本当にした方が良かったです！後輩に伝えたいことはオンとオフの切り替えです。楽しむときは全力で楽しんで、集中するときはしっかり集中するようにすれば、後悔のない高校生活が送れると思うのでこれから頑張ってください！

令和5年3月卒業生

卒業生の声



酒元 俊佑さん
吹上中出身

私の高校生活は、部活に明け暮れた日々を過ごしていました。バスケットボール部に所属し、毎日たくさん汗を流して、練習に取り組んでいました。また、これと言った努力はしていないのですが、期末考査などには、しっかりと勉強時間を確保し取り組んでいました。医療技術専門学校は男子の定員が全体の1割も満たない人数で狭き門でしたが、たくさんの先生方に面接のご指導をいただき合格することができました。三年生からの受験勉強だけ頑張るだけじゃ、進路実現は難しいと思うので、日々の勉強から頑張っていってください！



有馬 陽花さん
星峯中出身

私は、学校推薦選抜型入試で福岡大学に合格しました。この入試方式は、各学校内にある数枠を争うことになる為、平均評定がとても重要でした。しかし私は、高校1年次まで勉強を全くせず、テストも常に半分以下の順位でした。このままでは合格は厳しいと言われ、高校2・3年生で必死に勉強し、無事に推薦枠を勝ち取ることが出来ました。受験で大切なことは、早めに進路目標を決め努力することだと思います。早くから勉強しておけば良かったと言っている人を何人も見たし、私自身も何度もそう思いました。伊集院高校卒業生として、これから受験を控える人達が必ず志望校に合格できることを願っています。

令和5年3月卒業生

卒業生の声

森重 伊吹さん

郡山中出身

私は伊集院高校で部活動と勉学の両立に努めました。部活動ではバレーボール部の副キャプテンとして積極的に動き、仲間とさまざまな苦難を乗り越えました。勉学においては自分でできるだけ考え、妥協をしないよう努力しました。またクラスの友達を仲間であり、ライバルでもあると考え、負けないように毎日の予習や復習に取り組みました。これから大学受験に挑む人たちは、ともに競い合える仲間を作ることをおすすめします。ライバルがいればそれだけで勉強をしようと思えるし、楽しさを見出せると思います。

新町 美月さん

市来中出身

私は人見知りな所があったので、コミュニケーションを大事に高校生活を送りました。進路希望実現に向けて、私は早めに志望大学を決めました。友人や先生方にアドバイスを貰いながら、面接の練習をして過去の質問事例以外でも答えられるように努力しました。3年生になると、だんだん焦燥感が出てくることもあると思います。そんな時は、誰かに話してみてください。気持ちが楽になり、前向きに頑張っていけるとと思います。

令和5年3月卒業生

卒業生の声

福田 舞優さん

上市来中出身

高校では、部活動と勉強の両立や様々な学校行事等で忙しかったが、日々充実した生活を送ることが出来ました。進路希望実現に向けては、志望校の入試傾向や過去問題を解いたり自分の弱点を模試や学力テストの結果から分析し、勉強をしていました。後輩に伝えたいことは、提出物は必ず期限内に出すこと。そして自分自身が納得できる進路を選び、その目標達成のために最後まで諦めず自分を信じて頑張ることが大切です。目標に向かって頑張ってください。

内田 詩さん

生冠中出身

コロナ禍で制限がある中での高校生活でしたが、その中でも勉強や部活動に集中しやすい環境で、文武両道を目指し三年間を過ごすことができました。進路実現に向けては共通テスト対策はもちろん、小論文の対策には特に力を入れ、先生方に添削指導をしていただきました。先生方も親身になって進路選択の相談や指導をしてくださるので、自分の夢に向かって頑張ることができました。進路決定の際にたくさんの選択肢を持っておけるように、早いうちから進路について考えておくといいと思います。

令和5年3月卒業生

卒業生の声

赤鹿 諒由さん

日吉学園中出身

私の高校生活は、文武両道を心がけて生活をしていました。先生方はとても親切で、進路について等の相談も多くさせていただきました。学校の雰囲気も良く、勉強・部活動ともに充実していました。進路希望実現に向けて、隙間時間を意識して日々の生活を送っていました。勉強量や部活動での運動量が中学校の頃より圧倒的に増えてきます。そのため少しの時間を効率よく有効的に活用しなければなりません。また、授業のなかで行われる小テストを疎かにせず間違った箇所の訂正をし、その日疑問点を無くしていきましょう。高校生活では、これまで以上に自分から積極的に行動することが必要となってきます。そのなかで迷うことや分からないことが出てくると思いますが、自分で抱え込まず先生方や友人、先輩方に相談しましょう。きっと力になってくれると思います。

令和5年3月卒業生